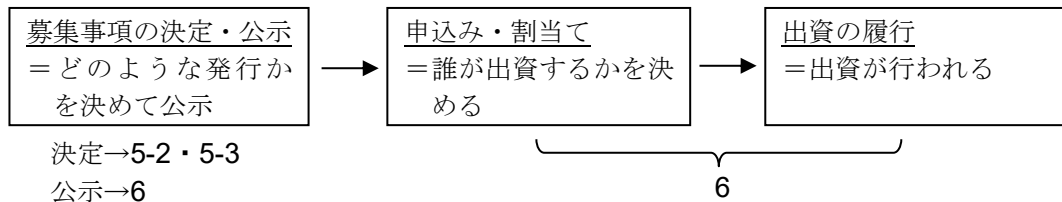


6.募集株式の発行(2)：募集事項の決定後の手続

6-1.募集事項の公示

(1)募集株式の発行手続の概要



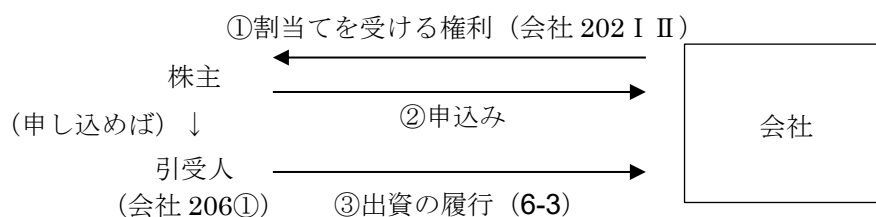
(2)募集事項の公示

株主割当て		株主への通知（会社 202Ⅳ）：募集事項・当該株主が割当てを受ける募集株式の数・引受けの申込みの期日
その他	公開会社で募集事項を取締役会で決定	株主への通知・公告（会社 201ⅢⅣ）：募集事項 〔→これだけを募集事項の公示と呼ぶことも〕 ＊金商法開示で代替（会社 201Ⅴ、会社則 40）
	募集事項を株主総会で決定	株主総会の招集通知（会社 298Ⅰ⑤・299Ⅳ、会社則 63⑦ホ）・参考書類（会社 301Ⅰ、会社則 73Ⅰ①②）：議案の概要等 ＊問題があることについてテキスト 6 章 2 節 2 ①(4)参照

6-2.申込みと割当て

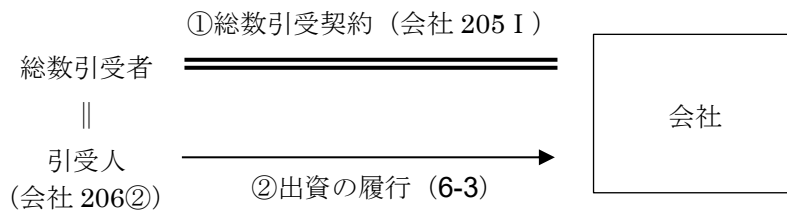
(1)引受人の決定

(a)株主割当て（5-1(4)①）：株主に株式の割当てを受ける権利を与える



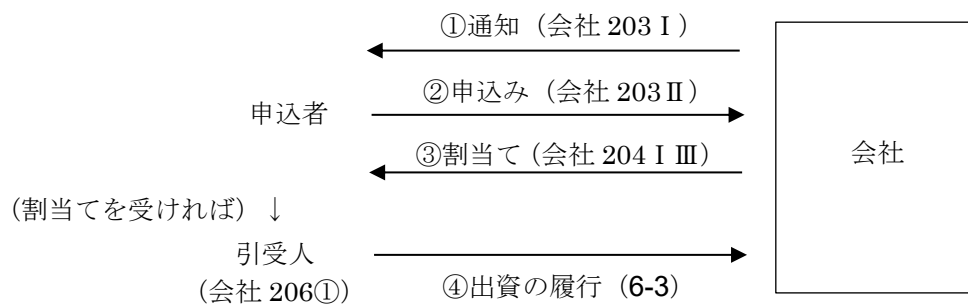
申込みをしない株主→失権（会社 204Ⅳ）

(b)総数引受契約：募集株式を引き受けようとする者がその総数の引受けを行う契約



第三者割当て（5-1(4)②）、買取引受け（5-1(4)③）

(c)その他の場合



割当自由の原則

引受けの無効・取消しの制限

- ・募集株式の引受けの申込み・割当て・総数引受契約に係る意思表示について民 93Ⅰ 但・94Ⅰ 不適用（会社 211Ⅰ）
- ・引受人は株主になった日から 1 件経過後・権利行使後は錯誤・詐欺・強迫を理由とする引受けの取消不可（会社 211Ⅱ）
- ・いずれも、募集株式の発行に関する法律関係の安定のためのルール

(2)他人名義による引受け [テキスト Column6-3]

事例 6-a 他人名義による引受け

C 会社は募集株式の発行をした。B は、A の承諾を得て、A の名義で募集株式の申込みをして割当てを受け、払込みの資金も B が出した。そのような事情を C 会社も知っていた。

最判昭 42・11・17 民集 21-9-2448

6-3.出資の履行

(1)引受人と出資

引受人（会社 206） * 払込み（金銭出資）＋給付（現物出資）＝出資の履行

・ 払込期日または払込期間内に払込みをし「なければならない」（会社 208 I）

・ 出資の履行→払込期日（または出資の履行日）に株主に（会社 209 I）

・ 出資の履行せず→失権（会社 208 V）——打切発行

引受人からする相殺の禁止

- ・ 引受人の会社に対する払込債務は、会社に対する債権と相殺できず（会社 208Ⅲ）
- ・ (例) P 会社の募集株式の発行手続の際に、A は募集株式 100 株（払込金額は合計 1000 万円）について申込みをし、引受人になったが、他方で、A は P 会社に対して 1000 万円の貸付債権を有している
→A の側から相殺を主張することは許されないが、P 会社の側から相殺を主張することや、A と P 会社の合意で相殺をすることは許される

権利株の譲渡

- ・引受人＝出資の履行をすれば株主になる権利を有する
- ・この権利の譲渡（権利株の譲渡）は、会社に対抗することができず（会社 208Ⅳ）
- ・会社の側からそれを認めることは可能

(2)全額払込み・銀行等の払込取扱場所（払込取扱金融機関）（会社 208Ⅰ）

- ・全額払込み（⇔分割払込み）

- ・銀行等（銀行、信用金庫等。会社 34Ⅱ、会社則 7）の払込取扱場所（払込取扱金融機関）

(3)申込証拠金

申込み（6-1(1)(a)②・(c)②）の際に申込証拠金支払い→払込みに充当

最判昭和 45・11・12 民集 24-12-1901

(4)現物出資（会社 199 I ③）

事例 6-b 現物出資

P 会社は、A に対して、A の保有する土地を出資させ、100 株を発行することにした。この土地は 1 億円の価値のある土地だとして出資されたが、株式の発行後に、実際の価値が 1000 万円しかないことが判明した。

過大評価のおそれ→特別の規制

- ・検査役による調査（会社 207 I）

——不要な場合（会社 207IX）

＝引受人に割り当てる株式の総数≦発行済株式総数の 10 分の 1（同①） など

- ・引受人・取締役等の財産価額填補責任（会社 212 I ②・213）

募集事項として定めた価額（会社 199 I ③） >> 実際の財産の価額

(5)取締役の報酬等として株式を付与する場合（会社 202 の 2）

株式報酬＝業績連動報酬の一種（→「会社法 I」）→出資させずに株式発行可能

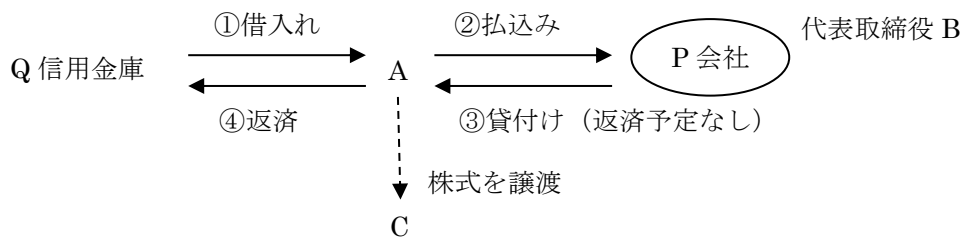
業績連動報酬 [テキスト Column4-40]

- ・業績連動報酬＝会社の業績に応じて報酬額が変動
- ・株式報酬（報酬として募集株式を付与）、ストック・オプション（報酬として新株予約権を付与）、業績指標に連動する賞与 etc.
- ・株式報酬の場合、株価（≡会社の業績）と報酬額が直接に連動
- ・報酬として募集株式・新株予約権を付与する場合、報酬としての規制（会社 361）を受けると同時に、募集株式・新株予約権の発行に関する規制を受ける

(6)出資の履行の仮装

事例 6-c 払込みの仮装（見せ金）

P 会社の募集株式の発行手続の際に、A は募集株式 100 株（払込金額は合計 1000 万円）について申込みをし、引受人になった。①A は Q 信用金庫から 1000 万円を借り入れ、②これを払込みに充てた。③払込期日の翌日に、P 会社は A に 1000 万円を貸し付け、④同日、A は 1000 万円を Q 信用金庫に返済した。①～④の行為は A と P 会社の代表取締役 B が共謀して行ったものであり、P 会社は A に貸し付けた 1000 万円について今後返済を求める予定はない。以上の場合に、(1)A や B は改めて 1000 万円を P 会社に支払わなくてもよいか。(2)そのような支払いが行われる前に A は前記の 100 株について権利を行使することができるか。(3)前記の 100 株が C に譲渡された場合、C は権利を行使することができるか。



引受人・仮装に関与した取締役の義務（会社 213 の 2 I ①・213 の 3 I）

払込みが仮装された株式の権利行使

・前記の義務履行まで権利行使不可（会社 209Ⅱ）

・株式が譲渡された場合——悪意・重過失ある譲受人（会社 209Ⅲ）